

※※2014年7月改訂(第6版、シロップ0.033%販売終了に伴う改訂)
※2009年9月改訂

日本標準商品分類番号
874412

抗ヒスタミン剤
※ **ベノン[®]錠1mg**
VENEN[®] Tablets 1mg
(トリプロリジン塩酸塩水和物錠)

※ 承認番号	22100AMX00525
※ 薬価収載	2009年9月
販売開始	2005年5月

※※ 貯法	しゃ光した気密容器、室温保存
使用期限	外箱、容器に使用期限を表示



【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

- 1) 緑内障のある患者
〔抗コリン作用により房水通路が狭くなり眼圧が上昇し、緑内障を悪化させるおそれがある。〕
- 2) 前立腺肥大等下部尿路に閉塞性疾患のある患者
〔抗コリン作用による膀胱平滑筋の弛緩、膀胱括約筋の緊張により、症状を悪化させるおそれがある。〕

※※ **【組成・性状】**

成分・含量 (1錠中)	トリプロリジン塩酸塩水和物 1mg
添加物	クエン酸水和物、合成ケイ酸Al、酢酸ビニル樹脂、シリコーン樹脂、ステアリン酸Mg、タルク、トウモロコシデンプン、乳糖水和物、ポビドン
剤形	フィルムコーティング錠
色調	白色
外形	
サイズ(mm)	直径：6.0 厚さ：3.0
重さ(g)	0.08
識別コード	

【効能・効果】

皮膚疾患に伴う痒痒(湿疹・皮膚炎、皮膚痒痒症、小児ストロフルス、中毒疹)、じん麻疹、アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎、感冒等上気道炎に伴うくしゃみ・鼻汁・咳嗽、急性中耳カタルに伴う耳閉塞感

※※ **【用法・用量】**

トリプロリジン塩酸塩水和物として、通常成人1回2~3mg(本剤2~3錠)を1日3回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
(1日量剤形換算)

通常成人1日量
6~9錠

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意すること。

2. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
アルコール	中枢神経抑制作用が増強することがある。	相加的に作用(中枢神経抑制作用)を増強させる。
中枢神経抑制剤(催眠・鎮静剤、抗不安剤等)	併用する場合には、定期的に臨床症状を観察し、用量に注意する。	
MAO阻害剤		
抗コリン作用を有する薬剤(三環系抗うつ剤、フェノチアジン系薬剤、硫酸アトロピン等)	抗コリン作用(口渇、便秘、尿閉、麻痺性イレウス等)が増強することがある。 併用する場合には、定期的に臨床症状を観察し、用量に注意する。	相加的に作用(抗コリン作用)を増強させる。

3. 副作用

本剤は、使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

	頻度不明
過敏症	発疹
精神神経系	眠気、倦怠感、めまい
消化器	口渇、悪心、下痢
その他	動悸、脱力感

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では抗ヒスタミン作用によるめまい、鎮静等の精神症状及び抗コリン作用による口渇等があらわれやすいので、注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

- 1) 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。
〔抗ヒスタミン剤を妊娠中に投与された患者群で、奇形を有する児の出産率が高いことを疑わせる疫学調査結果がある。〕
- 2) 授乳中の婦人には投与しないことが望ましいが、やむを得ず投与する場合には授乳を避けさせること。
〔外国において、ヒト乳汁中へ移行するとの報告がある。〕

6. 小児等への投与

低出生体重児、新生児には、中枢神経系の副作用(興奮、痙攣等)が起こる危険性が高いので投与しないことが望ましい。



※【薬物動態】

外国人のデータでは、健康成人にトリプロリジン塩酸塩水和物を3.75mg経口投与したとき、投与2時間後に血漿中濃度は最高に達し(8ng/mL)、以後約5時間の半減期で減少する。¹⁾

(注)本剤の承認された1回用量は2~3mgである。

【薬効薬理】

ヒスタミンのH₁受容体に対し競合的に拮抗することにより、抗ヒスタミン作用をあらわす。

モルモット摘出腸管のヒスタミンによる痙攣に対し、クロロフェニラミンの約4倍の抑制効果を有する。²⁾

ヒト経口投与時の抗ヒスタミン作用は、投与後30分以内にはあらわれ、2~3時間後にピークに達し、その作用は5時間以上持続する。³⁾

【有効成分に関する理化学的知見】

※一般名：トリプロリジン塩酸塩水和物

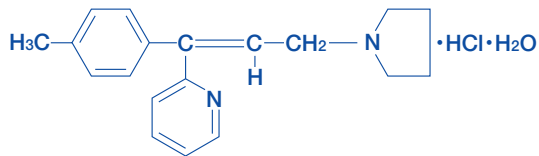
(Triprolidine Hydrochloride Hydrate)

※※化学名：(E)-2-[3-(1-Pyrrolidinyl)-1-p-tolylpropenyl]pyridine monohydrochloride monohydrate

分子式：C₁₉H₂₂N₂·HCl·H₂O

分子量：332.87

構造式：



性状：

- ・白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはない。
- ・氷酢酸に極めて溶けやすく、水、エタノール、クロロホルム又はn-ブタノールに溶けやすく、エーテル又はヘキサンにほとんど溶けない。
- ・光によって徐々に着色する。
- ・水溶液(1→10)のpHは6.0~7.0である。

融点：118~121℃

※※【包装】

500錠(瓶)

【主要文献】

1) DeAngelis R L et al : J Pharm Sci **66** 841 (1977)

2) Green A F : Br J Pharmacol **8** 171 (1953)

3) Fowle A S E et al : Eur J Clin Pharmacol **3** 215 (1971)

※【文献請求先】

佐藤製薬株式会社 医薬事業部

〒107-0051 東京都港区元赤坂1丁目5番27号

TEL 03-5412-7817

FAX 03-3796-6560